

新4号国道（国道4号バイパス）4車線化開通

2車線から4車線へ 栃木県内全線4車線化！

平成17年4月11日（月）開通

記者発表資料

新4号国道、おやまいしげし小山石橋バイパスのつげやま坪山高架橋が4車線化されます。

なお、一般開放に先立ちまして下記により開通式を行います。

< 期待される整備効果 >

周辺道路の通過交通が約4割転換、混雑が緩和

茨城・埼玉県境付近（しんとね新利根川橋）から北関東自動車道宇都宮上三川かみのかわIC

までの所要時間が74分から63分へ11分間短縮

沿道の大気質改善やCO₂削減による地球温暖化防止にも寄与

< 開通式典 >

- ・日時：平成17年4月11日（月） 午前10時から
- ・場所：とちぎけんしもつがぐんこくぶんじまちば栃木県下都賀郡国分寺町柴（坪山高架橋付近）

平成17年4月7日（木）
国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ 栃木県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ	
お問合せ先	
国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所	
副 所 長	<small>とくら けんじ</small> 戸倉 健 司（内線204）
工 務 課 長	<small>はれ まき じゅん いち</small> 晴 椋 順 一（内線411）
住 所	栃木県宇都宮市平松町504
電 話	028 - 638 - 2181（代表）

1. 事業の概要

開通区間の概要

小山石橋バイパス

～ 国道50号以北全線4車線化 ～

おやまいしほし いばらきけんゆうき しおたばやし
 小山石橋バイパスは、茨城県結城市小田林から
 とちぎけんかうちぐんかみのかわまちしもがもう
 栃木県河内郡上三川町下蒲生に至る延長約16km
 で、昭和47年度より事業に着手し、昭和61年
 度には全線が暫定2車線で開通しました。

平成5年より4車線化工事に着手し、今回開通
 に先立ち平成17年2月28日には立体部分5ヶ
 所を含む約7.4km区間が4車線化されました。

今回の坪山高架橋開通（約2.7km）により、
 新4号国道栃木県内全線が4車線化されます。

小山石橋バイパス事業経緯	
昭和47年度	事業着手
昭和48年度	用地買収着手
昭和49年度	工事着手
昭和61年度	全線暫定2車線供用

古河小山バイパス

～ 国道125号を挟んだ茨城県内約5kmが4車線化～

こがこやま いばらきけんさしまくんそうおまちやぎはし
 古河小山バイパスは、茨城県猿島郡総和町柳橋から
 いばらきけんゆうきしおたばやし
 茨城県結城市小田林に至る延長約16kmで、昭和4
 8年度より事業に着手し、平成4年度に全線が暫定2
 車線で開通しました。

平成5年度より4車線化工事に着手し、平成17年
 2月28日に立体部分3箇所を含む約5km区間が4
 車線化されました。

これにより、古河小山バイパスの起点部約1kmを除
 く約15km区間が4車線化されたこととなります。

古河小山バイパス 事業経緯	
昭和48年度	事業着手
昭和56年度	用地買収着手
昭和60年度	工事着手
平成4年度	全線暫定2車線供用



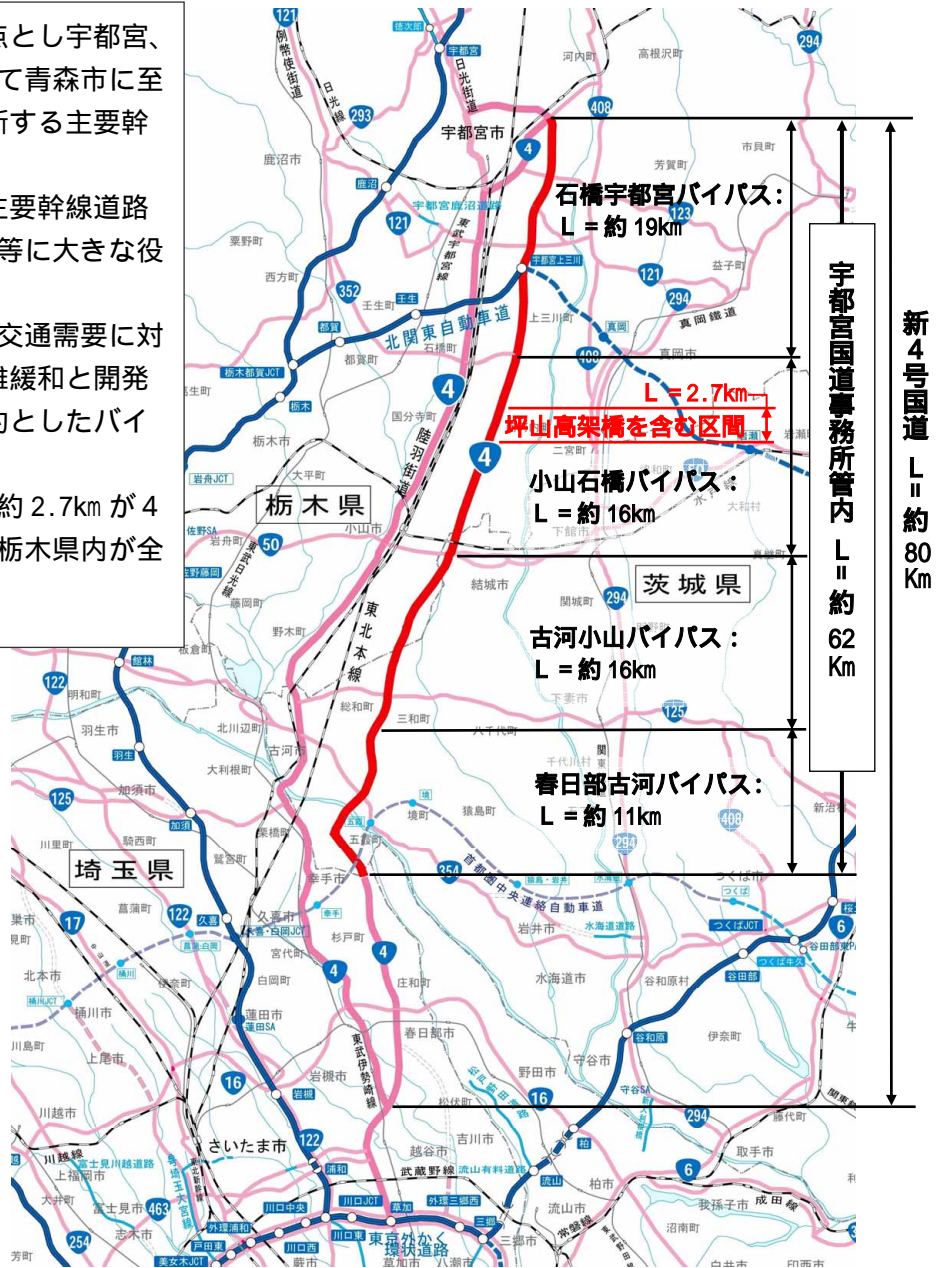
新4号国道の概要

国道4号は、日本橋を起点とし宇都宮、郡山、福島、仙台、盛岡を経て青森市に至る延長約850kmの本州を縦断する主要幹線道路です。

首都圏と東北地方を結ぶ主要幹線道路として、旧来から産業・文化等に大きな役割を担って来ました。

新4号国道は、このような交通需要に対応し国道4号沿線の交通混雑緩和と開発計画等地域振興の支援を目的としたバイパス事業です。

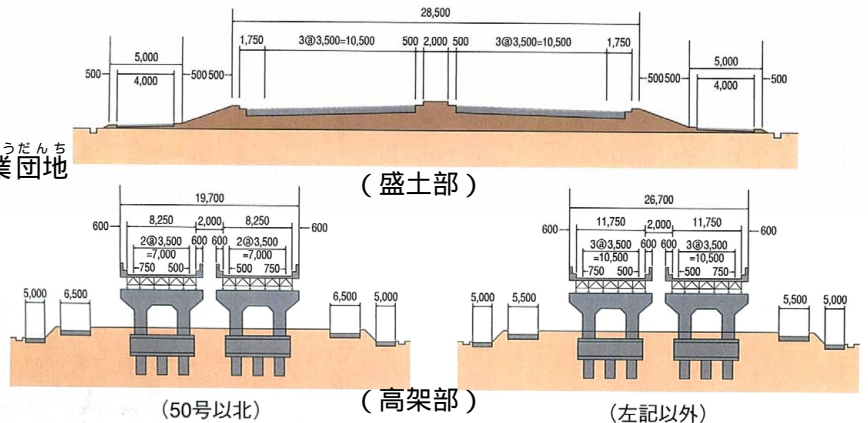
今回、小山石橋バイパスの約2.7kmが4車線で開通することにより、栃木県内が全線4車線化されます。



全体計画

- 路線名：国道4号（新4号国道）
- 区間：自 埼玉県越谷市下間久里
至 栃木県宇都宮市平出工業団地
- 延長：約80km
- 幅員：38.50m
- 規格：第3種第1級
- 設計速度：80km/h

標準横断面図（今回開通区間）

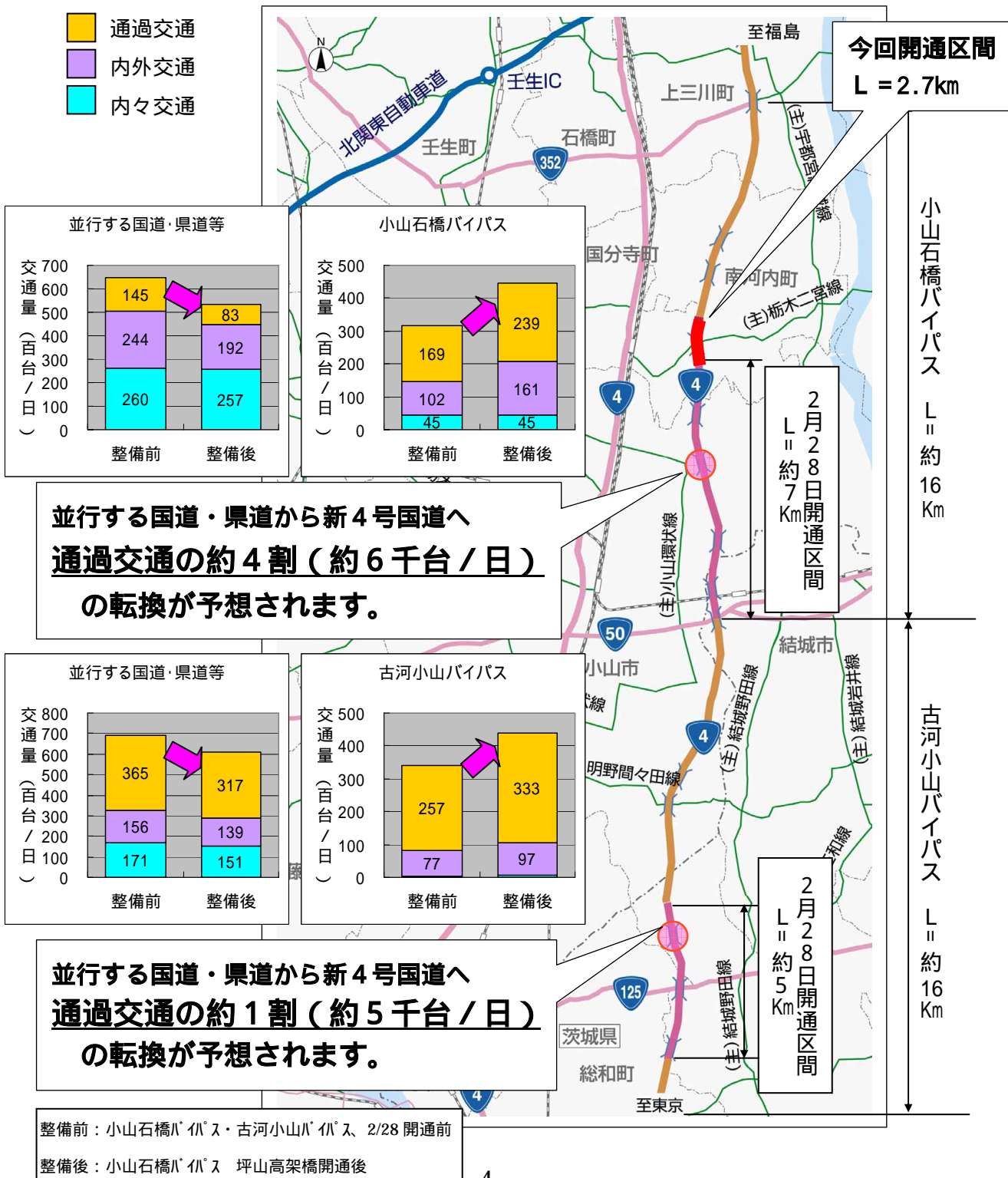


2. 整備効果（開通により期待される4つの効果）

今回開通した坪山高架橋及び平成17年2月28日（月）に開通した区間により、以下の4つの効果が期待できます。

整備効果1：国道4号現道等からの通過交通の排除

古河小山バイパス・小山石橋バイパスと並行する国道4号（現道）（主）宇都宮結城線、（主）結城野田線などでは、多くの交通が利用していますが、今回の新4号国道の4車線化により、大型車等の通過交通が転換し、混雑が緩和されるものと期待されます。

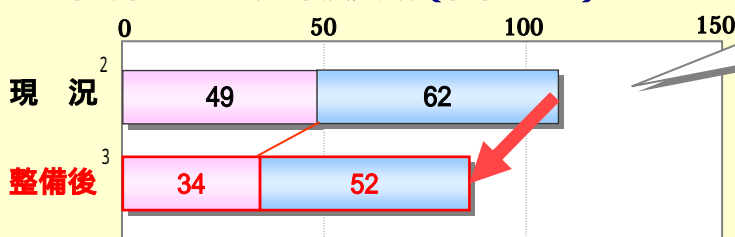


整備効果 2 : 新 4 号国道 2 車線区間の渋滞が解消

- ・ バイパスの 2 車線区間では、これまで旅行速度が低下していましたが、4 車線化されることにより、旅行速度が向上し、時間短縮が図られます。
- ・ また、国道 4 号(現道)についても通過交通がバイパスに転換することにより交通量が減少し、旅行速度が向上することが期待されます。



古河小山バイパス、小山石橋バイパス 4 車線化による渋滞損失額 (億円 / 年)



渋滞による損失は、
年間約 25 億円の節約

古河小山、小山石橋バイパス
国道 4 号現道

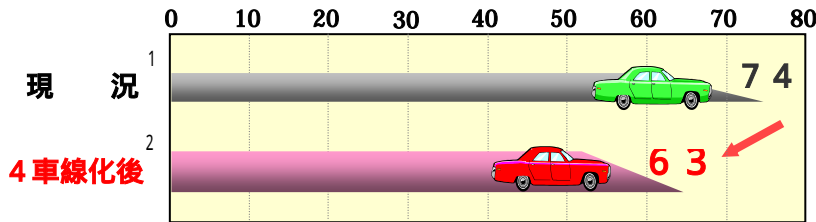
2 国土交通省調査 (H16.4 ~ H16.12)

3 国土交通省調査 (H16.4 ~ H16.12) により試算

整備効果 3 : 所要時間の短縮 (新利根川橋 ~ 宇都宮上三川 I C)

古河小山バイパス・小山石橋バイパスのこれまで2車線だった区間が4車線化されることにより、茨城・埼玉県境付近(新利根川橋)から北関東自動車道宇都宮上三川 I C間の所要時間が約11分間短縮されるものと期待されます。

茨城・埼玉県境付近(新利根川橋) ~ 宇都宮上三川 I C 所要時間(分)



約15% (11分)
所要時間が短縮!

- 1 国土交通省調査 (H16.4 ~ H16.12)
- 2 国土交通省調査 (H16.4 ~ H16.12) により試算

宇都宮上三川 I C



旅行速度が向上!



新利根川橋 (茨城・埼玉県境付近)

整備効果 4 : 沿道環境の改善が期待されます

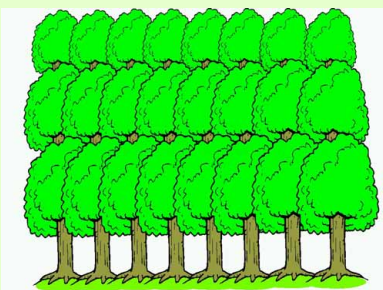
ボトルネック区間となっている坪山高架橋が4車線化されることにより、国道4号(現道)の旅行速度が向上することから排出ガスの削減が図られ、沿道の大気質改善やCO₂の削減による地球温暖化防止にも寄与することが期待されます。

1年あたりの削減量

CO₂ 約 1,200 トン



二酸化炭素の削減効果は、
**約 1,100 本の
クスノキが**
1年間に吸収する量に相当
します。



・公害健康被害補償予防協会の「大気浄化植樹マニュアル」(H15.3改訂)によれば、クスノキ(直径50cm)の総CO₂吸収量は1本当たり約1.08t-CO₂/年です。

NO_x 約 6 トン



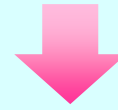
窒素酸化物(NO_x)の削減効果は、

**大型車 1 台が
東京～大阪間を
1,400 往復走行**
した時の排出量に相当します。



・東名高速東京IC～名神高速西宮IC間を片道530kmとして換算(参考:日本道路公団ホームページ)
・大型車が速度40km/hで走行した場合

SPM 約 0.6 トン



浮遊粒子状物質(SPM)の削減効果は、500mlの

**ペットボトル
約 6,000 本分**
に相当します。

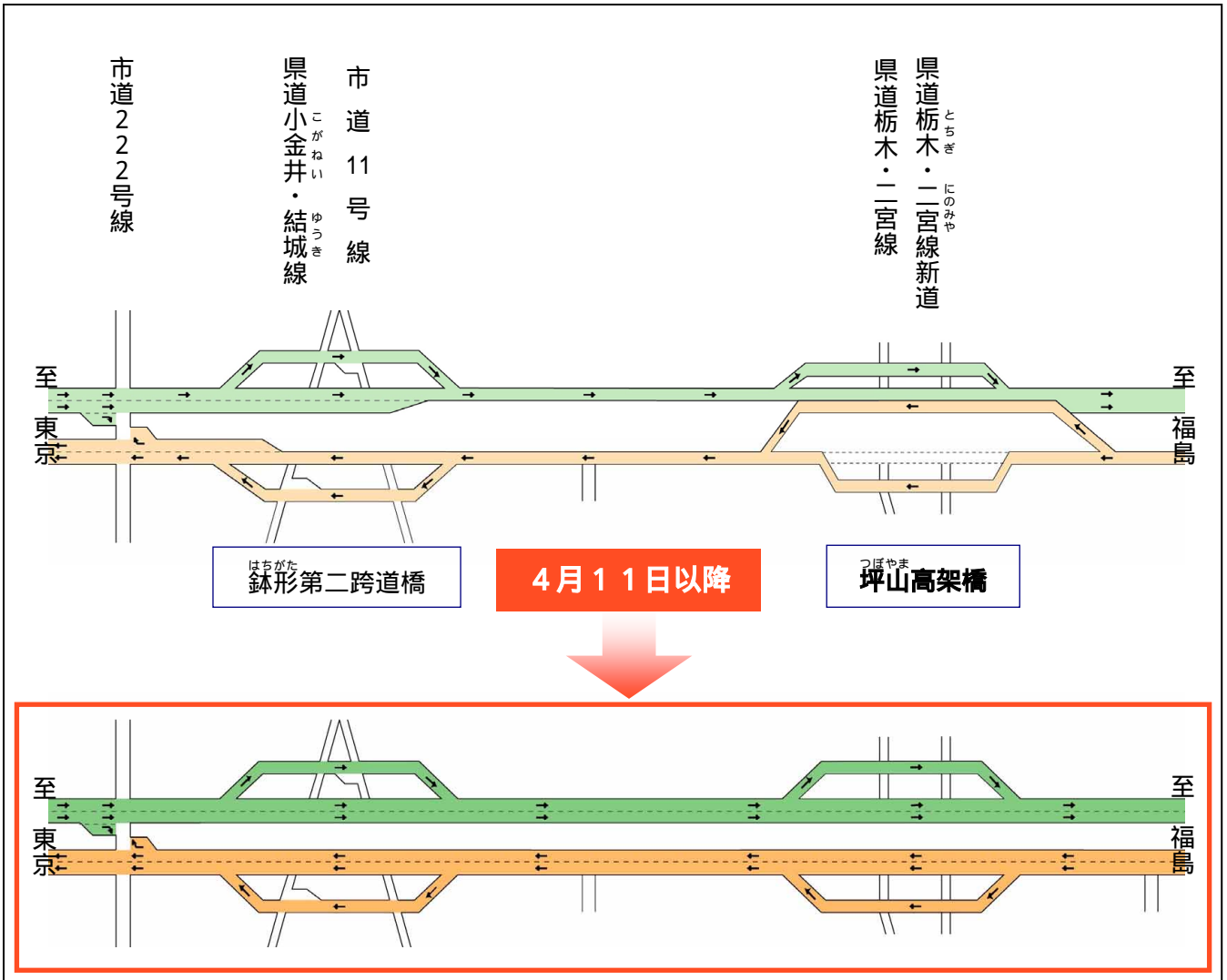


・500mlのペットボトル1本はSPM約100gに相当します

各排出量の算出については、国土技術政策総合研究所資料NO.141による。

坪山高架橋付近通行形態

平成17年4月11日に2車線から4車線に変更



参考

新4号国道栃木県内全線4車線化開通式

- (1) 日 時 平成17年4月11日(月)午前10:00~11:30
- (2) 会 場 栃木県下都賀郡国分寺町柴
- (3) 主 催 国土交通省 関東地方整備局
- (4) 内 容

交通安全祈願
鉄入れ式
くす玉開披
渡り初め

一般開放は16時頃を予定しています。

(5) 案内図

